

【資料①】

1. 交通情報を確認し、渋滞を回避して安全ドライブを！

- 広島 JCT から神戸 JCT 間では、今年の年末年始期間も下図の予測のように、1/3(日曜)に 10 km以上の渋滞を上り線で5箇所予測しています。

渋滞を考慮した予想所要時間は、NEXCO西日本ウェブサイトのトップページにある「料金・経路検索」に出発予定日時を入力することで確認することができます。

【検索例】 1/3(日曜) 広島ICから神戸三田ICを利用 通常所要時間:3時間15分 ※下図参照

**14時00分出発の場合：5時間53分(+2時間38分)**

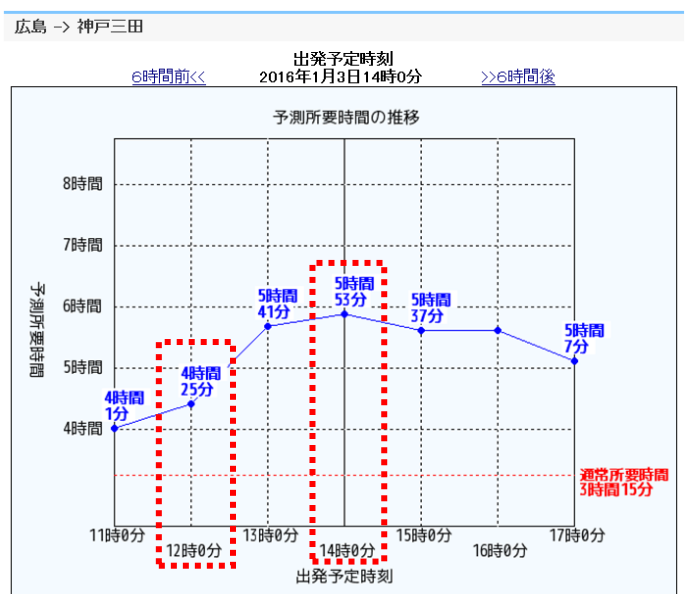
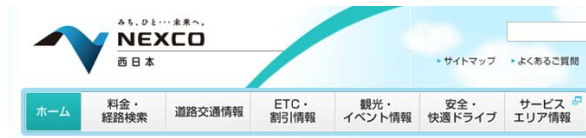
12時00分出発の場合：4時間25分(+1時間10分)

- アイハイウェイや道路情報板などで渋滞情報をご確認いただき、渋滞を回避して安全ドライブで目的地までの旅行を楽しんで下さい。

■平成28年1月3日の渋滞予測図(予測10km以上) ※渋滞予測ガイドより



広島⇒神戸三田 所要時間検索例



予測到着時間を調べる

交通集中渋滞予測を考慮した予測到着時間がわかります

出発予定日時

2016年1月3日(日)

14時 0分

出発

出発・到着IC等を変更する

出発IC 広島  入力補助 車種

到着IC 神戸三田  出発・到着の入れ替え 日

経路 指定しない  路線を選択してください

指定しない  路線を選択してください

● 地図からICを探す ● 道路からICを探す ● 都道府県からICを探す

## 2. 休憩施設の混雑対策

### ① SA や PA 駐車場の混雑情報提供

山陽道沿線の SAPA 35 箇所(上下線別カウント)の SA や PA の駐車場の混雑情報を、下図看板にて表示いたします(特に混雑が予想される日の日中)

また、NEXCO西日本のウェブサイト(右図)では、過去の交通混雑期の休憩施設の混雑状況について掲載しています。



『満・混雑』表示の例



### ② 混雑時の誘導員の配置及び、バス等大型車駐車対策

過去の交通混雑期(GW、お盆、ゴールデンウィーク等)の状況を踏まえて、特に激しい混雑を予測している期間に、休憩施設等での**駐車場整理員の配置**、駐車場内の長距離バスや大型トラックの円滑な移動の為、**大型車用マス(バス優先マス)の確保と誘導**を行う予定です。ご協力をお願いします。



休憩施設入口部での誘導



バス・大型車用マスの確保と誘導

## 3. 広島ICから広島空港へ向かう場合は時間に相当余裕をもった計画を!

- 山陽道の広島空港アクセス区間(広島 JCT→河内 IC 間)ではこの年末年始期間も、広島周辺→広島空港方向で 10 kmを超える渋滞が 3 回程度、30 分以上の遅れを予測しています。(過去には事故渋滞で 20km を超す場合、最大 2 時間程度の遅れもあり)
- また、アクセス区間での著しい渋滞、または、事故等で通行止めした場合には、**広島空港リムジンバスが運休する恐れもあります。**
- 乗り遅れ防止のため、早めの空港移動のすすめや、代替手段(JR 山陽線→シャトルバス利用)のご紹介をデジタルポスター等で行います。

年末年始 リムジンバスやマイカーで 広島空港へ行かれるお客さまへ

広島空港へは ゆとりを持ってご出発を!

出発前に Highway で渋滞をチェック!

20 km 程度 渋滞時 過去 最大 2 時間!

広島 IC → 河内 IC (広島空港最寄り) 間の過去の所要時間

渋滞なし	10 km 程度の渋滞時	20 km 程度の渋滞時
約 0.5 時間	約 1 時間	最大 2 時間

時間に余裕を持ってお出かけください!

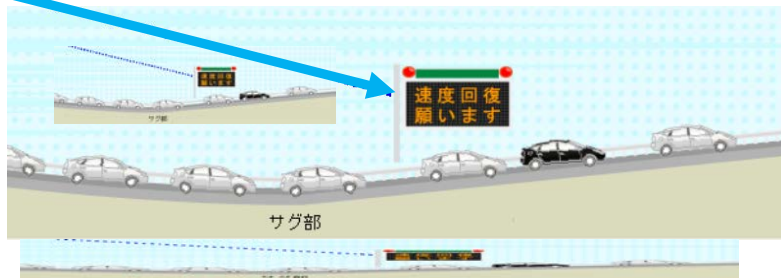
広島 IC ⇒ 河内 IC

アイハイウェイで 10 km 以上の渋滞を見たら 電車のご利用(最寄駅:白市駅)もお考え下さい。

## 4. 渋滞緩和に向けた対策及びお願い

### ① 上り坂など速度低下箇所(渋滞発生箇所)における対策

渋滞の先頭位置付近に、『渋滞の終了のお知らせ』と『速度回復をお願いします』看板を設置し、渋滞の先頭に位置する車に速度の回復を促し、渋滞緩和を図ります。



### ② 渋滞緩和に向けたお願い

#### [1] 速度を低下させない！

上り坂など速度低下を注意喚起している場所では、速度回復にご協力をお願いします。

#### [2] 適度な車間距離を！

走行中は余計なブレーキを踏まないよう、かつ速度に合わせた車間距離の確保をお願いします。

#### [3] 追越車線に集中しない！

渋滞中における必要以上の車線変更は、更なる渋滞の悪化を招きます。

### ③ 渋滞発生メカニズム(交通集中全体の58%)

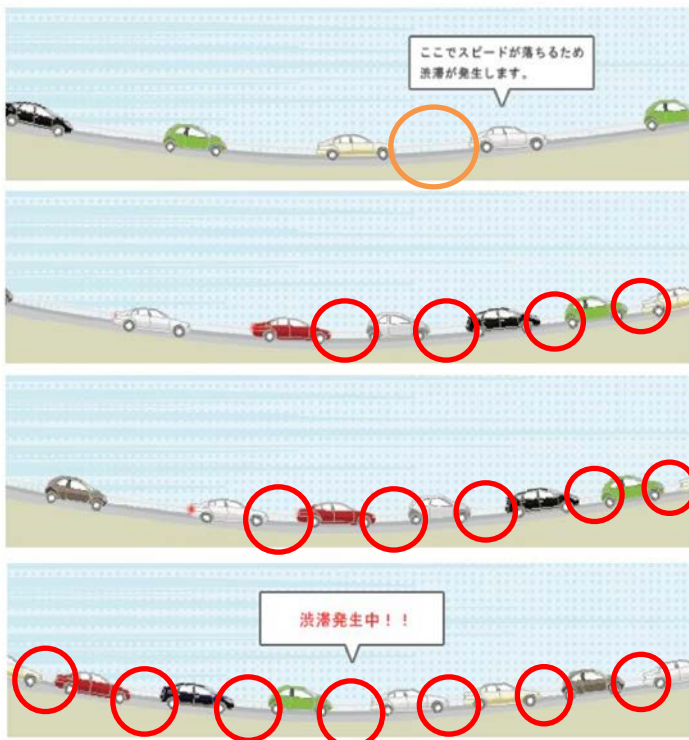
下り坂から上り坂に変わる箇所など、上り勾配区間では

- 無意識のうちに速度が低下
- 後続車は車間確保のため、連鎖的にブレーキを踏む

こととなり、渋滞が発生します。

#### 1. 上り坂及びサグ部【交通集中渋滞の約58%】

下り坂から上り坂にさしかかる所を「サグ」と呼ぶが、そのような所では気付かぬうちに速度低下してしまう車があり、後続の車との車間距離が縮まることから、次々に後続の車がブレーキを踏むことになり、渋滞が起こる。



1) 上り坂に入った車両の速度が自然と低下。ここで速度が落ちるため、渋滞が発生します。

2) 後ろの車が車間が縮まったことに気づき、速度を落とす。

3) 速度低下、車間距離の縮みが、後続車に次々と伝わる。

4) 下り坂の底部(サグ部)から渋滞！